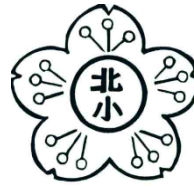


北小物語2018



平成30年 6月11日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (21)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『いっしょ』『いっしょ』『いっしょ』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第21話：「自分の思い・考えを自分の言葉で伝える～北っ子『少年の主張』～」の巻 ☆☆☆

思い・考えを言葉に



「この日本に生まれて」

田平北小学校 6年 中倉宏斗

北っ子の
少年の主張
発表会



みなさんにとっての「ぜいたく」とは何ですか。おいしいご飯を食べること？家族みんなで旅行に行くこと？それとも、ほしいものを買うことですか？人によって「ぜいたく」はそれぞれに違うことでしょう。

しかし、この地球上には、そんな「ぜいたく」ができない人たちがいます。その国、その町が貧しくて、その日に食べることに精一杯の人たちがいます。もちろん、その中には、子どもたちも多くいるのです。しかし、その子どもたちには夢があります。

ぼくが、この国「日本」に生まれて11年が経ちました。ぼくの父は日本人。そして、ぼくの母はフィリピン人です。2年前、ぼくは、初めて、母の生まれた国「フィリピン」に行きました。そこには、この日本では、あまり見たことのない驚きの光景が広がっていました。ぼくは、テレビで、「ストリートチルドレン」を見たことがありました。そこで、「ストリートチルドレン」とは、両親がいなかったり、いろいろな事情で住む家がなかったりする子どもたちのことだと知りました。

フィリピンの街を歩いていて、ぼくは「ストリートチルドレン」を目の当たりにしました。ぼくと同じくらいの子供たちが、たくさんぼくのところに寄ってきて、「ギブミーマネー（お金をください）」と言うのです。ほかに、レストランの外から、店の中をのぞき込み、店から人が出てくると、食べ物を探ってくる子どもたちがそこにいるのです。

その時、ぼくは何も考えることすらできませんでした。ぼくの住む「日本」とのあまりの違いに、ただただぼう然とするだけでした。けれど、今思うことは、その子どもたちも精一杯に生きていこうとしているのだということです。

フィリピンには、貧しい人ばかりではないことも分かりました。母によく聞くのは、家族のきずなを深めるために、自分の家でいっしょにご飯を食べる習慣があるということです。この旅行で、ぼくは、先ほどとは違う幸せなこの光景を見ることもできました。お金が少なくても、子どもたちの教育に力を入れる国、それがフィリピンであることも知りました。だから、子どもが大人になっても、ずっと親に感謝するのだそうです。

一方、ぼくの住む「日本」では、とても怖いことですが、親が子を虐待（ぎゃくたい）したり、子どもが親を殺したりする事件を耳にすることが多くなりました。これは、昔と今の生活の在り方や家庭・社会を取り巻く環境が大きく変化していったことにかかわりがあると思います。今は、昔と違って助け合いや近所づき合いが少なくなっています。高齢化社会が進む中、これとは逆行して祖父や祖母、親とのコミュニケーションができていないのが事実です。

ぼくたちが生きている今の時代は、科学技術や文明が発達し、たいへん便利になっています。しかし、昔から伝わる大切な習慣や伝統などを置き去りにしているように思えてならないのです。だれしも人は、一人では生きていけません。そのため、みんなで助け合う、話し合う、そして協力し合うということが何よりも大事です。ぼくは、この思いを世界中に広めていくことが必要だと考えました。大人たちだけではなく、子どもであるぼくたちも、これからの社会について考えていかなければならないと思います。それには、子どもに対する大人の教育・指導が必要です。ぼくらも、それを待っています。

フィリピンで生きる子どもたち。そして、日本で生まれ生きているぼく。同じ地球に生きている子どもです。大人も含め、そんなぼくたちが、お互いのよいところを教え合い、だめなところを語り合って直し合える世界が必要です。そんな未来をぼくたち自身の力で創っていかねばならない。ぼくは、そう思います。

ぼくは、今までこの日本やほかの国のことについて深く考えたことがありませんでした。このようなことを深く考えることができたのは、「少年の主張」という場を与えていただいたからです。この大会に感謝しています。心も体も大きくなった、そんな気がするぼくが、ここにいます。

6月10日（日）文化センター大ホールにて、市内各小学校から15名、中学校から9名、合計24名の子どもたちによる「少年の主張」大会がありました。本校代表の6年：中倉宏斗くんは、第1番目の発表者でしたが、とても堂々とした立派な態度で、素晴らしい発表でした。



【「少年の主張」発表者集合写真】